

平成30年度

島根大学大学院人文社会科学研究科修士課程

言語・社会文化専攻言語文化コース

(第2次) 入試問題

【 日本語学 】

(私費外国人留学生入試)

注 意

- 1 問題紙 1 ページ，解答用紙 2 枚である。
- 2 指示があってから確認し，解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は，解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は，持ち帰ること。

次の I～III の問題について、解答用紙に問題番号を明記したうえで答えなさい。

I. 次の例文 (ア) (イ) (ウ) における 3 つの「でも」は、文法的な性質や意味が異なる。

それぞれどのように異なるのか、根拠を挙げて説明しなさい。(10 行程度)

(ア) ちょっと休憩してコーヒーでも飲もう。

(イ) そんなこと小学生でもできる。

(ウ) 特急券は生協でも買える。

II. 平仮名と片仮名が清濁を書き分けない文字体系として成立した理由について述べなさい。(10 行程度)

III. 次の事項について簡潔に説明しなさい。(各 2 行程度)

1 破擦音

2 接辞

3 バリエーション

4 表語文字

5 万葉仮名

6 キリシタン資料